

ポローニャ大学 協定留学（交換留学）月例報告書（2023年12月）

文化政策学部 芸術文化学科3年 尾高美海

みなさまこんにちは。尾高美海です。12月は履修していた講義も終了し、街は煌びやかな雰囲気をつらいつクリスマスムードに包まれています。今月は主に旅の様子をお届けしたいと思います。

[授業について]

12月は附属学校CLAの期末テストがありました。同じレベルでも先生によってテスト内容が異なり、もう一人のSUAC生はオーラルテストがあったようですが私のクラスは筆記のみでした。120分間のテスト時間で、リスニングとリーディング、ライティングをおこないます。話すことが好きな私は、オーラルテストがないことにショックを覚え苦手な文法を克服するためイタリア人の友人に助けられました。また、当日受けたライティングのお題が面白かったので共有します。

『ある日、あなたは異性と出かけましたが、全く楽しくありませんでした。なぜですか？他の友達へメールを送ってください』

現実味のあるお題に戸惑いましたが、無事単位を取得出来たので良かったです。

[ドイツ旅行]

今回私は初めて一人ドイツ旅をしたのですが、人に恵まれた2泊3日の旅でした。大好きなクリスマスドイツを堪能するべく、私は事前にホテルや電車チケットなど全て完璧に準備しました。当日の朝です。なんとドイツ列車のストライキ日に当たってしまったのです。頭の中は大パニックでしたが『なんとかなる』その一心で列車に飛び乗り旅がスタートしました。本来であればミュンヘンまで直通で行けたのですが、ストライキによりウィーンで乗客全員が降ろされることになりました。知らない土地でイレギュラー時に私の言語力が簡単に伝わるはずもないため、とりあえず隣のおじいさんに声をかけたところ、おじいさんもミュンヘンへの帰路の途中でした。おじいさんがずっと一緒にいてくれたお陰で、二度の乗り換えを経て無事ミュンヘンへ辿り着くことが出来ました。次の日、私は観光のためミュンヘン・レジデントゥへ向かったのですが、今度はミラノのマダム二人と出会ったのです。ひよんなことから会話が弾みレジデントゥで3時間強一緒に見て回ったり、その後もお茶をしたりと一日一緒に過ごして下さいました。気合いを入れて始まった一人旅ではありますが、終始とても優しい方々に恵まれ安全に過ごすことが出来ました。

[クリスマス×イタリア旅行]

イタリアのクリスマスは家族で過ごすことが一般的と言われています。私も日本から母を招いて、ローマでクリスマスを過ごしました。私がイタリアに興味を持ったことや語学の習得を目指すきっかけになったのは、イタリアを愛してやまない母の影響のため、今回クリスマスという一大イベントをイタリアで母と過ごすことが出来て嬉しかったです。クリスマス当日は、バチカン市国で開かれた Urbi et Orbi に参加しました。ローマ法王様がお出ましになりお言葉を賜った際の会場の歓声が今も忘れられません。そのほかにもヴェネツィアやミラノ、ボローニャを案内しました。ホテルや食事など、全てイタリア語でやりとりをしましたが、一番苦労したのは母の買い物での通訳です。ブランド物となると一人の店員さんがずっとくっついてきますし、何度も試着をしたり、その度店員と服についてのコミュニケーションを交わさないといけなかったりしました。正直私はファッションには無頓着なので語彙という意味でも頭に入っていないく、イタリア旅で一番頭をフル回転させました。久しぶりに刺激を受けたので良かったです。

[一月について]

私の留学生活も残すところあと二ヶ月となりました。一月は旅行だけでなく、学業や就活など意外と盛り沢山の月のため、体調に気をつけながら過ごしていきたいです。



ミュンヘン・レジデンス



12月25日バチカン市国